

平成30年8月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成30年7月13日

上場会社名 株式会社メタップス 上場取引所 東
 コード番号 6172 URL <http://www.metaps.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 航陽
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部長 (氏名) 萩野矢 宏樹 TEL 03-6459-4670
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年8月期第3四半期の連結業績（平成29年9月1日～平成30年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第3四半期	16,712	66.6	73	△86.7	52	△91.4	△98	—	△100	—	△21	—
29年8月期第3四半期	10,030	82.4	551	—	600	—	438	—	371	—	646	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第3四半期	△7.46	△7.46
29年8月期第3四半期	28.74	28.25

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
30年8月期第3四半期	23,842	8,454	8,012	33.6
29年8月期	19,786	6,822	6,582	33.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年8月期	—	0.00	—	—	—

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成30年8月期の連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

平成30年8月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、詳細につきましては、添付資料P.3「1. (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）KOL Media Limited、除外 1社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期3Q	13,458,110株	29年8月期	12,974,010株
② 期末自己株式数	30年8月期3Q	1株	29年8月期	1株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期3Q	13,389,666株	29年8月期3Q	12,922,610株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「テクノロジーでお金と経済のあり方を変える」のコーポレートビジョンのもと、成長性の高いインターネット領域に経営資源を集中し事業を展開しております。当該領域は、スマートフォンやタブレット、ウェアラブル端末といったデバイスの普及に加え、Twitter、Facebook、Instagram、LINEなどのソーシャルメディアの拡大、クラウドや人工知能(AI)の進化、ブロックチェーンや仮想通貨といった新しいテクノロジーやサービスの出現により劇的な変化を続けております。これらの市場規模は世界的にも一層の拡大が見込まれ、関連事業を提供する当社グループの収益機会も大きく広がるものと考えております。このような事業環境のもと、当社グループは、マーケティング関連事業及びファイナンス関連事業を2つの事業の柱としながら、10秒単位で時間を売買できる時間取引所“Timebank(タイムバンク)”やお金コミュニケーションアプリ“pring(プリン)”を開始するなど積極的に新規サービスの開発を行っております。ファイナンス関連事業が堅調に拡大したことにより売上高は前年同期比大幅に増加したものの、新規事業や仮想通貨関連事業への投資が先行したことが影響し、営業利益は前年同期に比して大幅な減少となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高16,712百万円(前年同期比66.6%増)、営業利益73百万円(前年同期比86.7%減)、税引前四半期利益52百万円(前年同期比91.4%減)、四半期利益△98百万円(前年同期は438百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期利益△100百万円(前年同期は371百万円)となりました。

セグメントの概況は次のとおりです。

なお、第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較においては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値を用いて比較しております。

各報告セグメントの主な会社は、以下のとおりです。

セグメント名称	主な会社
マーケティング関連事業	<国内> ビカム株式会社 株式会社メタップスリンクス
	<海外> Metaps Pte. Ltd. KOL Media Limited
ファイナンス関連事業	<国内> 株式会社メタップスペイメント
	<海外> Metaps Plus Inc. Smartcon Co. Ltd.

① マーケティング関連事業

国内外の法人企業向けに包括的なマーケティング支援サービスを展開しております。インターネット広告の販売をはじめ、自社サービスとして分析ツール“Metaps Analytics”を提供し、顧客の広告効果の分析・運用まで一体サービスとなったマーケティングプラットフォームの運営を手掛けております。

当第3四半期連結累計期間においては、スマートフォン向け運用型広告を中心とするネット広告市場の拡大を背景に、積極的な営業活動を展開し業容拡大を図りました。海外においては、欧米及び東南アジアにおけるマーケティングの知見を有し、中華圏の顧客が北米に進出する際のゲーム運営委託のリーディングカンパニーでもあるKOL Media Limitedの株式を取得するなど、アジア市場における更なる事業基盤の強化に取り組み、継続して好調であった一方、国内では、複数のマーケティング子会社のサービスを横断的に管轄するマーケティング事業本部を新設するなどの施策を実行したものの、市況の悪化等の影響を受け、売上・利益ともに想定を下回る着地となりました。

この結果、マーケティング関連事業における売上高は3,262百万円(前年同期比7.9%減)、セグメント利益は102百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

② ファイナンス関連事業

国内法人企業向けの決済代行サービスの他、成長著しいFinTechの分野において様々な新規サービスを国内外で展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、オンライン決済や電子クーポンなどの既存事業が順調に拡大いたしました。当社は当四半期において、当社韓国子会社であるMetaps Plus発行の仮想通貨PLCの売却等による収益の計上を見込んでおり、同社が運営する仮想通貨取引所サービスである「CoinRoom」等の新規事業に積極的な投資を行いませんでした。しかしながら、当四半期よりPLCの保有目的を変更したことに伴い、見込んでいた利益を計上しないこととなった一方で、投資費用のみが先行したため利益は大幅な減少となりました。

この結果、ファイナンス関連事業における売上高は13,412百万円(前年同期比106.3%増)、セグメント利益は369百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は23,842百万円となり、前連結会計年度末の資産合計19,786百万円と比べ4,056百万円増加しました。これは主に、新株発行に伴う払込等により現金が1,092百万円増加したこと、仮想通貨の取得等に伴い棚卸資産が1,150百万円増加したこと及び子会社の取得に伴いのれんが1,178百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は15,387百万円となり、前連結会計年度末の負債合計12,964百万円と比べ2,423百万円増加しました。これは主に、ICOに伴う繰延収益の認識等によりその他の流動負債が1,613百万円増加したことによるものです。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は8,454百万円となり、前連結会計年度末の資本合計6,822百万円と比べ1,633百万円増加しました。これは主に、新株予約権の行使に伴う新株の発行によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末6,650百万円に比べ1,092百万円増加し、7,742百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は770百万円となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権の増減額541百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は△67百万円となりました。これは主に、無形資産の取得による支出△352百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は378百万円となりました。これは主に、新株の発行による収入1,440百万円及び長期借入金の返済による支出△723百万円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが取り組む事業の多くは、新規性が高く、その市場環境や会計処理に多くの不確定要素を含んでおります。そのため、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、業績予想の開示を見合わせる決定をいたしました。今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2017年8月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2018年5月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,650	7,742
営業債権及びその他の債権	6,749	6,332
棚卸資産	—	1,150
その他の金融資産	187	208
その他の流動資産	378	707
流動資産合計	13,964	16,138
非流動資産		
有形固定資産	165	391
のれん	3,371	4,549
顧客関連無形資産	1,125	1,169
その他の無形資産	604	824
持分法で会計処理されている投資	270	290
繰延税金資産	31	43
その他の金融資産	215	397
その他の非流動資産	41	41
非流動資産合計	5,822	7,704
資産合計	19,786	23,842

	前連結会計年度 (2017年8月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2018年5月31日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	1,278	564
営業債務及びその他の債務	7,358	8,263
その他の金融負債	562	836
未払法人所得税	68	129
引当金	36	29
その他の流動負債	667	2,280
流動負債合計	9,968	12,102
非流動負債		
社債及び借入金	2,701	2,435
その他の金融負債	66	512
引当金	4	74
繰延税金負債	187	222
その他の非流動負債	39	43
非流動負債合計	2,996	3,286
負債合計	12,964	15,387
資本		
資本金	4,691	5,419
資本剰余金	3,699	4,438
その他の資本の構成要素	△85	△24
利益剰余金	△1,723	△1,822
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,582	8,012
非支配持分	240	442
資本合計	6,822	8,454
負債及び資本合計	19,786	23,842

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2017年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)
	百万円	百万円
売上高	10,030	16,712
売上原価	7,716	13,720
売上総利益	2,313	2,993
販売費及び一般管理費	2,256	3,234
その他の収益	513	452
その他の費用	30	158
持分法による投資利益	11	20
営業利益	551	73
金融収益	92	44
金融費用	43	66
税引前四半期利益	600	52
法人所得税費用	161	150
四半期利益又は四半期損失(△)	438	△98
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	371	△100
非支配持分	67	2
四半期利益又は四半期損失(△)	438	△98
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)	28.74	△7.46
希薄化後1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)	28.25	△7.46

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2017年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)
	百万円	百万円
四半期利益又は四半期損失(△)	438	△98
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	208	77
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	208	77
税引後その他の包括利益	208	77
四半期包括利益	646	△21
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	558	△27
非支配持分	88	6
四半期包括利益	646	△21

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	その他の資本の構成要素		
			新株予約権	その他の 包括利益 累計額	合計
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2016年9月1日時点の残高	4,663	4,820	65	△311	△246
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	187	187
四半期包括利益合計	—	—	—	187	187
新株の発行 (新株予約権の行使)	14	24	△10	—	△10
新株予約権の行使	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	6	—	6
子会社取得に係る 非支配持分	—	—	—	—	—
子会社の増資による持分 の増減	—	—	—	—	—
非支配株主との資本取引 配当金	—	△1,130	—	—	—
所有者との取引額合計	14	△1,106	△4	—	△4
2017年5月31日時点の残高	4,677	3,714	60	△124	△64

	親会社の所有者に 帰属する持分			
	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円
2016年9月1日時点の残高	△2,000	7,237	319	7,556
四半期利益	371	371	67	438
その他の包括利益	—	187	22	208
四半期包括利益合計	371	558	88	646
新株の発行 (新株予約権の行使)	—	28	—	28
新株予約権の行使	—	—	△75	△75
株式に基づく報酬取引	—	6	—	6
子会社取得に係る 非支配持分	—	—	67	67
子会社の増資による持分 の増減	—	—	50	50
非支配株主との資本取引 配当金	—	△1,130	△150	△1,280
所有者との取引額合計	—	△1,096	△121	△1,218
2017年5月31日時点の残高	△1,629	6,699	286	6,985

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				合計
	資本金	資本剰余金	新株予約権	その他の 包括利益 累計額	
	百万円	百万円	百万円	百万円	
2017年9月1日時点の残高	4,691	3,699	41	△126	△85
四半期損失(△)	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	72	72
四半期包括利益合計	—	—	—	72	72
新株の発行 (新株予約権の行使)	728	733	△10	—	△10
新株予約権の失効	—	—	△1	—	△1
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—
子会社取得に係る 非支配持分	—	—	—	—	—
非支配株主との資本取引	—	7	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	728	739	△11	—	△11
2018年5月31日時点の残高	5,419	4,438	30	△54	△24

親会社の所有者に
帰属する持分

	利益剰余金		非支配持分	資本合計
	合計	合計		
	百万円	百万円		
2017年9月1日時点の残高	△1,723	6,582	240	6,822
四半期損失(△)	△100	△100	2	△98
その他の包括利益	—	72	5	77
四半期包括利益合計	△100	△27	6	△21
新株の発行 (新株予約権の行使)	—	1,451	—	1,451
新株予約権の失効	1	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	29	29
子会社取得に係る 非支配持分	—	—	212	212
非支配株主との資本取引	—	7	1	8
配当金	—	—	△24	△24
その他	—	—	△22	△22
所有者との取引額合計	1	1,457	196	1,654
2018年5月31日時点の残高	△1,822	8,012	442	8,454

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2017年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	600	52
減価償却費及び償却費	269	365
持分法による投資損益(△は益)	△11	△20
棚卸資産の増減額(△は増加)	—	△1,145
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△3,706	541
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	5,731	514
その他	△593	624
小計	2,289	930
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△26	△21
法人所得税の還付額	—	53
法人所得税等の支払額	△153	△192
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,111	770
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形資産の取得による支出	△121	△352
無形資産の売却による収入	—	790
子会社の取得による支出	△930	△229
支配の喪失を伴う子会社の売却による収入	300	—
その他	△31	△275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△782	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	569	389
短期借入金の返済による支出	△235	△689
長期借入れによる収入	600	—
長期借入金の返済による支出	△1,240	△723
社債の発行による収入	2,371	—
非支配持分株主からの子会社持分取得	△970	△25
非支配持分株主への子会社持分一部売却	571	—
新株の発行による収入	37	1,440
その他	56	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,759	378
現金及び現金同等物の増減額	3,087	1,081
現金及び現金同等物の期首残高	6,273	6,650
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	11
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,426	7,742

- (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 一般情報

事業セグメントは、経営資源のセグメントへの配分と業績を評価するために、最高経営意思決定者に定期的に提出される内部報告に基づいて認識しております。

当社グループは、経済的特徴及び提供するサービス等の要素が概ね類似する各事業セグメントを集約し、「マーケティング関連事業」及び「ファイナンス関連事業」を報告セグメントとしております。

「マーケティング関連事業」においては、国内外の法人企業向けに包括的なマーケティング支援サービスを展開しております。インターネット広告の販売をはじめ、自社サービスとして分析ツール“Metaps Analytics”を提供し、顧客の広告効果の分析・運用まで一体サービスとなったマーケティングプラットフォームの運営を手掛けております。

「ファイナンス関連事業」においては、国内法人企業向けの決済代行サービスの他、成長著しいFinTechの分野において様々な新規サービスを国内外で展開しております。

なお、第1四半期連結会計期間より、経営資源配分及び業績評価の管理区分を変更しております。これに伴い、前連結会計年度において単一としていた報告セグメントを「マーケティング関連事業」及び「ファイナンス関連事業」の2つのセグメントへ区分しております。

(2) 報告セグメントの売上高及び利益

報告セグメント間の売上高は、独立第三者間取引における価格に基づいております。

報告セグメントの売上高、利益及び損失は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2016年9月1日 至 2017年5月31日)

(単位:百万円)

	マーケティング 関連事業	ファイナンス 関連事業	その他	調整額	要約四半期 連結財務諸表 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	3,492	6,495	42	—	10,030
セグメント間の売上高	48	7	212	△268	—
合計	3,540	6,503	254	△268	10,030
セグメント利益 又は損失(△)	108	414	△455	1	68
その他の収益及び その他の費用					483
金融収益及び金融費用					49
税引前四半期利益					600

当第3四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)

(単位:百万円)

	マーケティング 関連事業	ファイナンス 関連事業	その他	調整額	要約四半期 連結財務諸表 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	3,183	13,411	118	—	16,712
セグメント間の売上高	79	1	317	△397	—
合計	3,262	13,412	435	△397	16,712
セグメント利益 又は損失(△)	102	369	△692	△0	△221
その他の収益及び その他の費用					294
金融収益及び金融費用					△21
税引前四半期利益					52